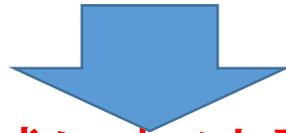


小児科標榜医不在町村における
乳幼児健診の実施について：
全国調査

広島国際大学医療経営学部
江原朗

背景

- 小児医療の重点化・集約化により、小児科医が減少する地域が生じる。
- 医療が疎となる地域でどのような小児保健医療が提供できるか、十分な知見がない。
- 平成22年現在、小児科標榜医が全国235町村にはいない。しかし、こうした町村でも乳幼児健診の実施義務がある。



医療過疎となる地域における小児保健医療提供
のモデルとなりうる

方 法

- 平成22年医師歯科医師薬剤師調査
 - 各市町村の**小児科標榜医の有無**
- 平成23年度地域保健・健康増進事業報告
 - **乳幼児健診の対象者数, 受診・接種者数**
 - **異常の判定率**
- 各町村の母子保健部局へのアンケート調査
(および開示請求)
 - **乳幼児健診の実施方法(集団・個別),**
 - **担当する医師の標榜診療科**
 - **医師の派遣元**

市町村の小児科標榜医の有無と乳幼児健診受診率，異常判定率

- 小児科標榜医の有無と受診率
 - 1歳6か月健診，3歳児健診ともに
大差はない
- 異常判定率（「異常なし」以外の比率）
 - 1歳6か月児健診では，小児科標榜医の
いる市町村 > いない町村
 - 3歳児健診では有意差なし

市町村の小児科標榜医の有無と 乳幼児健診受診率，異常判定率 (平成23年度，全国1,738市町村)

	1歳6か月児健診 小児科標榜医		3歳児健診 小児科標榜医	
	あり	なし	あり	なし
市町村数	1,507	231	1,507	231
対象者数	1,096,462	8,289	1,111,309	8,701
受診者数	1,035,254	7,737	1,021,521	8,059
受診率	<u>94.4%</u>	93.3%	91.9%	<u>92.6%</u>
P	0.000		0.017	
判定				
異常なし	717,362	5,735	692,098	5,626
異常あり	269,778	1,998	292,012	2,414
異常判定率	<u>27.3%</u>	25.8%	29.7%	30.0%
P	0.003		0.491	

乳幼児健診担当医の標榜診療科 (アンケート回答175町村)

- 担当医師の標榜診療科
(小児科標榜有が85%)
 - 122町村(69.7%):「小児科」
(小児科を主として標榜)
 - 26町村(14.9%):「内科・小児科」
(小児科を従として標榜)
 - 18町村(10.3%):「小児科標榜なし」
 - 9町村(5.1%):診療科の「指定なし」

乳幼児健診を担当する医師の標榜診療科 に関して行ったアンケートの調査結果 (小児科標榜医不在175町村:回収率75.8%)

地方	対象 町村数	回答 総数 (回答率)	回答町村数			
			小児科 (主たる標榜)	内科・小児科 (従たる標榜)	小児科標榜なし	指定なし
北海道	53	49 (92.5%)	37 75.5%	6 12.2%	6 12.2%	0 0.0%
東北	48	31 (64.6%)	22(1) 71.0%	7 22.6%	1 3.2%	1 3.2%
関東	17	12 (70.6%)	3 25.0%	7 58.3%	0 0.0%	2 16.7%
中部	37	24 (64.9%)	15(1) 62.5%	3 12.5%	4 16.7%	2 8.3%
関西	19	14 (73.7%)	5 35.7%	3 21.4%	4 28.6%	2 14.3%
中国	10	6 (60.0%)	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
四国	10	8 (80.0%)	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
九州沖縄	37	31 (83.8%)	26 83.9%	0 0.0%	3 9.7%	2 6.5%
総計	231	175 (75.8%)	122(2) 69.7%	26 14.9%	18 10.3%	9 5.1%

「小児科医(主たる標榜)」の派遣元 (集団健診120町村)

- 23町村(19.2%) : 「大学」
- 76町村(63.3%) : 「病院」
 - 実際には二次医療圏内の病院小児科医
- 19町村(15.8%) : 「診療所」
- 2町村(1.7%) : 無回答

「小児科(主たる標榜)」医師の派遣元 (集団健診を実施する小児科標榜医不在120町村)

地方	大学	病院	診療所	無回答	総計
北海道	15	18	4	0	37
	40.5%	48.6%	10.8%	0.0%	100.0%
東北	1	14	5	1	21
	4.8%	66.7%	23.8%	4.8%	100.0%
関東	1	1	1	0	3
	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
中部	2	10	2	0	14
	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	100.0%
関西	0	4	1	0	5
	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
中国	1	4	1	0	6
	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%
四国	0	7	1	0	8
	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
九州沖縄	3	18	4	1	26
	11.5%	69.2%	15.4%	3.8%	100.0%
総計	23	76	19	2	120
	19.2%	63.3%	15.8%	1.7%	100.0%

小児科標榜医がない204町村へ派遣される 健診担当医の標榜診療科 (アンケート＋開示請求)

医師派遣元	標榜診療科	町村数	比率
町村内		37	18.1%
	小児科標榜医以外	23	11.3%
	診療科の指定なし	14	6.9%
町村外		167	81.9%
	二次医療圏内	136	66.7%
	<u>小児科医</u>	<u>120</u>	<u>58.8%</u>
	内科・小児科医	14	6.9%
	小児科標榜医以外	2	1.0%
二次医療圏外		31	15.2%
	<u>小児科医</u>	<u>30</u>	<u>14.7%</u>
	内科・小児科医	1	0.5%
総計		204	100.0%

結 語

- 小児科標榜医がない町村の乳幼児健診は主に二次医療圏内の基幹病院から小児科医の派遣を受けて実施されていた。
- 小児医療の重点化・集約化の際には、医療資源が乏しい地域の外来診療に医師を派遣するなど、基幹病院に一定の役割が期待できると思われる
- 本研究は公益財団法人ユニバーサル財団の助成を受けました